

地域との連携 ～部活動のクラブ化と運動能力の向上～

岐阜県大垣市立
上石津中学校
全校生徒数163名
(男子73名 女子90名)

実践内容

実施目的

- ①部活動のクラブ化とは、部活動としての活動時間が確保できない休日や平日夜間の活動を社会人コーチと育成会が中心となり、部活動の顧問と連携を図ってクラブとして活動することである。生徒の技能習得、運動能力向上、信頼関係の構築を目指す。
- ②保護者によるクラブ育成会を組織したり、地域人材のコーチに指導を依頼したりすることで、地域全体で生徒の力を伸ばしていこうとする環境を整える。
- ③学校、保護者、地域人材のコーチが共通理解のもとで生徒の指導にあたるができるようにする。

実施内容

1 部活動のクラブ化

(1) 部活動とクラブの一体化

クラブは、保護者が地域人材のコーチ(指導者)や場所を確保し、部活動と同じ生徒で構成しています。部活動指導者とコーチは指導方針を共通理解し、それぞれの場で指導にあたっています。部活動とクラブの一体化した指導で、十分な活動時間を確保し、より高い技能を身に付けさせています。休日・平日夜には、クラブとして、コーチと保護者を中心に3～4時間程度の練習を行い、定期的な練習が行える環境を整えています。

(2) 技能の向上

卒業生や保護者から、専門的な技能を生徒に教えたいと申し出があります。そのような地域人材に指導を求めることで、一層の技能の向上を目指しています。

(3) 基礎体力の向上

部活動・クラブ活動において、ランニングや筋肉トレーニング、敏捷性を高めるラダーでのトレーニングや、なわ跳びを行うことによって、技能の向上だけでなく、個々の基礎体力を向上させるよう取り組んでいます。

2 地域や保護者との協力・連携

(1) 保護者との協力・連携

各クラブには保護者で構成するクラブ育成会があります。ここでは、当番を決めて練習を見届けるだけでなく、練習の計画から場所の確保まで中心となってクラブを運営しています。

(2) 地域との協力・連携

地域への投げかけや地域からの情報によって、専門的な技能とともに礼儀やマナーも指導できる地域人材の発掘に努めています。こうしたことは、地域で生徒を育てていこうとする気運も高めています。

(3) クラブ連合会の定期的な開催

年に数回、学校と各クラブ会長(保護者)、指導者によるクラブ連合会を開催しています。

活動の様子等を互いに確認し合うことで、生徒の心身の育成をともに支えています。

(4) 親子レクリエーションの開催

PTAが主体となって、レクリエーション協会から講師を招き、1・2年生合同の親子レクリエーションを開催しています。運動への親しみや関心を高めるとともに、親子で汗を流し、ふれあう機会を創り出しています。

実施上で工夫したこと

- ①部活動とクラブの運営にあたっては、学校、保護者(クラブ育成会)、指導者によるクラブ連合会を定期的で開催することにより、運営の円滑化や指導方針の共通理解を図りました。
- ②生徒と学校、保護者の希望を理解し、継続した指導を依頼できる地域に根付いた指導者の発掘に力を注ぎました。
- ③新体力テストの結果をクラブ連合会に資料として報告し、生徒が苦手な傾向にある運動要素については、各部活動・クラブの練習に取り入れて運動の強化を図るなど、指導方法の改善に活用しました。

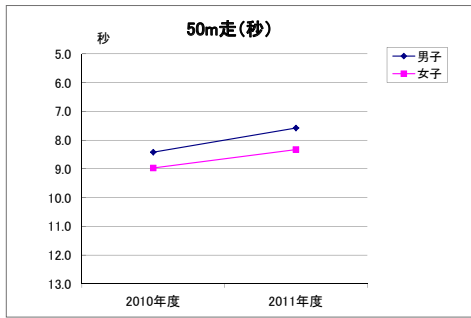
主な成果

地域と連携し、部活動をクラブ化することによって次のような効果が現れ、生徒の運動能力が向上しました。

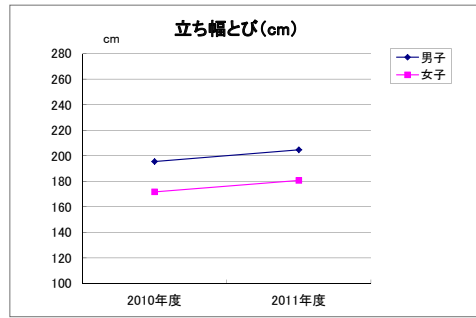
- ①保護者や地域の協力によって、休日や平日夜間の練習に熱心に参加する生徒が増えました。
- ②学校、保護者、地域の指導者が連携をとることによって、技能と精神の両面で生徒を支えることができました。
- ③各種の大会で優秀な結果を残すだけでなく、授業日の欠席も少なくなりました。(中学2年生は、平成22年度、23年度と連続して欠席日数0を記録)

●新体力テストの3年間の変化

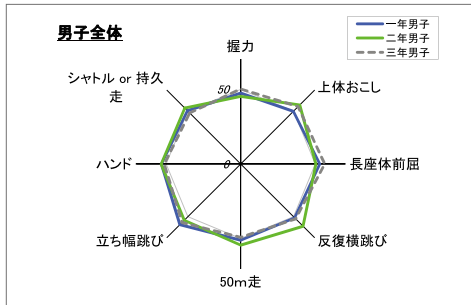
第2学年		50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)
男子	H23	7.6	204.6	23.7
	H22	7.9	202.9	23.5
	H21	7.7	208.4	22.7
女子	H23	8.3	180.7	15.3
	H22	8.5	180.7	14.8
	H21	8.6	179.2	14.7



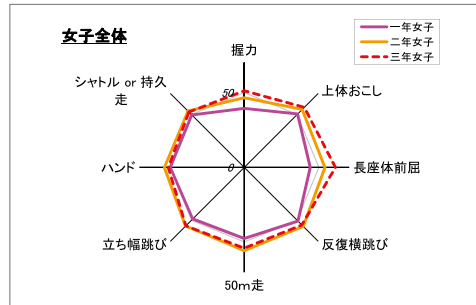
50m走 現2年生の前年度からの伸び



立ち幅とび 現2年生の前年度からの伸び



全校男子新体カテスト結果



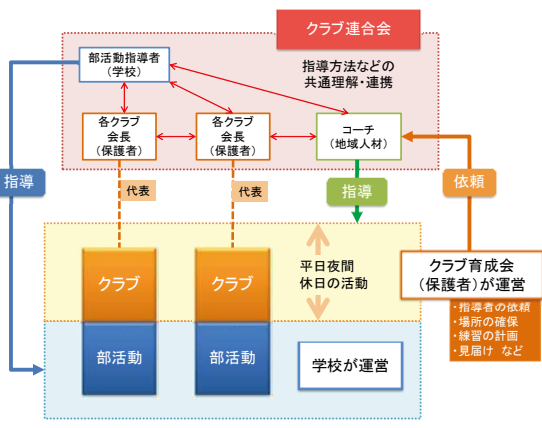
全校女子新体カテスト結果



活動の様子①



活動の様子②



部活動のクラブ化



親子レクリエーション

第3章 体力向上への活用のポイントと取組事例
IV 学校と家庭・地域及び学校間で連携するために